

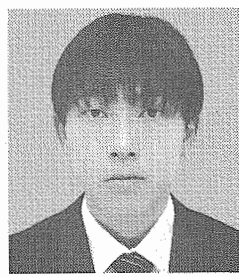
学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】
(3年 菅秀斗)

景観資源の1つに鉄道の駅などの交通ターミナルがある。明海大学の最寄り駅、J R京葉線新浦安駅の景観の特徴を調べた。

新浦安駅の特徴はまず緑の多さである。バスの発着所付近の緑はプランターや植え込みなどあまり高くないものが配置されていて、見通しが確保されて運転の邪魔にならないように配置されている。歩道には高い木々が植えられていて、交番と行政サービスが入っているビルは壁面緑化されていて、景観がとても綺麗である。非常に多くの緑があ

交通ターミナルと駅のデザイン



【アピールポイント】
サッカーが大好きです。試合観戦やプレーを楽しむ、特に海外サッカーなどを見るのが大好きです。

り、よく手入れされている。駅の改札を出てロータリー側に曲がって階段を降りると、目の前のところどころに大きな木が配置されている。緑の種類も豊富でその先のベンチの近くには腰ほどの高さの植木が植えられており、歩道

新浦安駅にはこれらの特徴があるが、バス停は多いのにそれぞれの間隔が狭いためバス停に並ぶ人たちのスペースをもう少し作って、そして広さである。車道も良いと思う。

新浦安駅の場合 広い歩道整備

統一された「色合い」と「緑化」

広場の中心にはシンボルとなる大きな木が植えてあるため夏場でも気持ちよく利用することができる。次に色の統一感である。歩道やプランターや植え込みの壁などは薄茶や茶色がかったグレーで統一され、周囲の木の色とマッチして感じない。

【教員による展開】
(浜島裕美教授)
J R京葉線は東京駅から東京湾沿いを通り、千葉県の蘇我駅までの43kmをつなぐ路線で、現在東京都内に6駅、千葉県内に12駅(東京駅、蘇我駅含む)が設けられている。昨年3月に、

緩和のためのバイパスとして計画された路線だったが、現在では通勤・通学利用のほか、東京ディズニーリゾートや幕張メッセなどへの重要な足として多くの乗客が利用している。新浦安駅は、1988年12月1日に舞浜駅などと同

時に開業した。東京ディズニーランドは1983年に開業し、その最寄り駅が舞浜駅である。千葉県内の京葉線は駅前のロータリーに緑が多いという特徴があるが、新浦安駅周辺は、浦安市景観計画の区域で、「新浦安駅は新たな拠点として商業・業務・文化・宿泊・住宅などの複合した市街地としてダイナミックな景観を形成するに至った」とされる。現在

京葉線は千葉の駅近辺の用途地域は商業地域で、北側にはホテル、南側に駅前ロータリーがある。ロータリーの周囲には行政サービスセンターと交番、複合施設、音楽ホールや郵便局のほか、ショッピングセンターが立ち並んでいる。建物に統一感はないが、落ち着いた空間になっているのは、学生が掲げた特徴によると思われる。